

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、高水準で推移している。設備投資は、減少している。個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している。住宅投資は、弱い動きとなっている。この間、生産は、持ち直しの動きが一服している。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、前年を上回っている。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資・・・高水準で推移している

3月の公共工事請負金額は、市町村などの発注が増加したものの、県、国などの発注が減少したため、前年を下回った。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2025年 6月	9月	12月	2026年 1月	2月	3月
山形県	43.2	25.4	85.7	▲6.9	▲13.3	▲6.2

〈資料〉東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの(以下同じ)。

(2) 設備投資・・・減少している

3月短観における2026年度の設備投資計画(全産業)をみると、製造業は増加したものの、非製造業が減少したため、前年度を下回る計画となっている。

この間、2月の建築着工床面積(民間非居住用)は、運輸などが増加したものの、製造業、医療・福祉などが減少したため、前年を下回った。

(図表2) 県内企業の設備投資額(2026年3月山形短観) 前年度比、%

山形県	2024年度(実績)	2025年度(計画)	2026年度(計画)
全産業	20.3	▲35.4<▲9.2>	▲5.0
製造業	18.1	▲33.1<▲11.8>	1.2
非製造業	24.5	▲39.6<▲3.6>	▲17.3

〈資料〉日本銀行山形事務所

〈 〉内は前回調査比修正率、%

(図表3) 建築着工床面積(民間非居住用) 前年比、%

	2025年 3月	6月	9月	2025年 12月	2026年 1月	2月
山形県	231.2	▲63.8	54.5	81.0	47.6	▲60.6

〈資料〉国土交通省

(3) 個人消費・・・一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している

2月の販売額をみると、百貨店・スーパー（全店ベース）、コンビニエンスストア、ドラッグストアは、前年を上回った。ホームセンターは、前年を下回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2025年 4～6月	7～9月	10～12月	2025年 12月	2026年 1月	2月
全店	3.8	3.7	2.7	0.8	2.4	1.3
既存店	3.8	3.7	2.7	0.8	2.8	1.8

〈資料〉経済産業省

3月の乗用車新車新規登録・届出台数は、前年を下回った。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数 前年比、%

山形県	2025年 6月	9月	12月	2026年 1月	2月	3月
乗用車 合計	▲0.3	▲7.2	▲3.0	▲3.7	▲6.0	▲15.7
普通車	▲9.6	▲6.9	▲15.8	▲14.2	▲22.1	▲18.5
小型車	21.4	▲14.6	25.2	5.8	0.4	▲24.4
軽四輪	▲3.1	▲3.4	▲4.4	▲0.1	4.5	▲7.8

〈資料〉東北運輸局

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に緩やかに増加している。

(4) 住宅投資・・・弱い動きとなっている

2月の新設住宅着工戸数は、持家が増加したものの、貸家と分譲が減少したため、前年を下回った。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2025年 3月	6月	9月	2025年 12月	2026年 1月	2月
山形県	11.2	▲11.5	▲14.5	10.3	3.7	▲16.7
持家	35.3	▲36.6	2.1	▲9.6	▲8.6	0.6
貸家	▲19.2	16.2	▲41.5	51.0	147.8	▲31.3
分譲	34.5	47.8	20.6	9.1	▲36.1	▲43.3

〈資料〉国土交通省

3. 生産・・・持ち直しの動きが一服している

1月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を上回った。業種別にみると、金属製品、鉄鋼など5業種は低下したものの、化学、電子部品・デバイスなど16業種は上昇した。在庫指数（季節調整済）は、前月を下回った。

（図表7）鉱工業指数

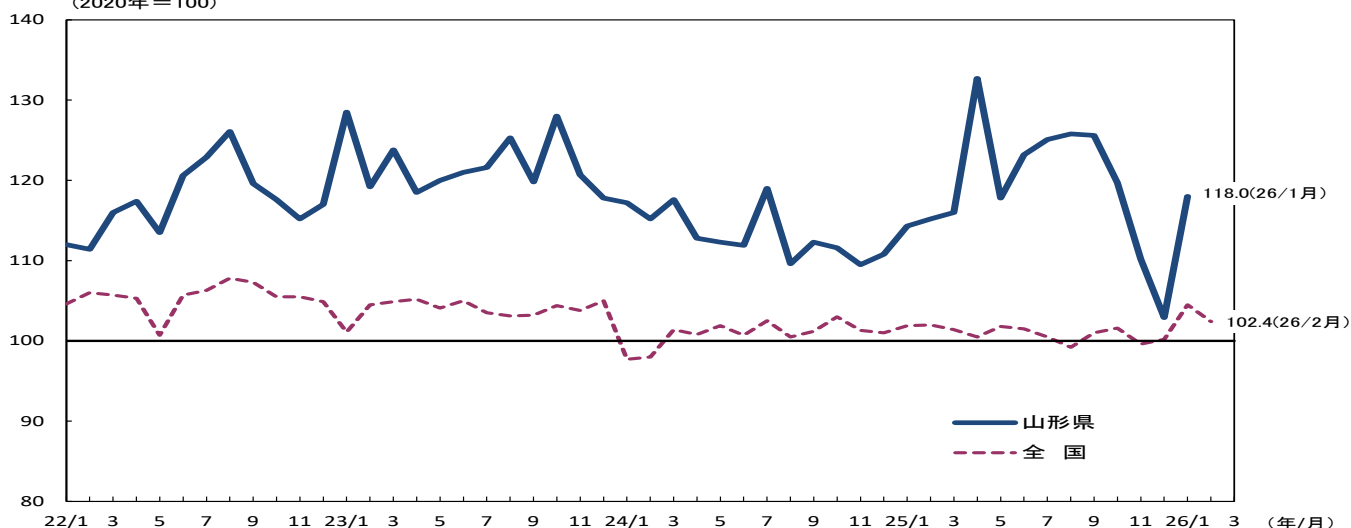
2020年基準

山形県		2025年 3月	6月	9月	2025年 11月	12月	2026年 1月
生 産	季節調整済前月比%	0.7	4.6	▲0.2	▲7.9	▲6.6	p 14.7
	原指数前年比%	▲1.4	12.8	14.6	▲2.7	▲4.8	p 0.8
在 庫	季節調整済前月比%	▲3.6	▲1.6	1.3	▲1.0	1.1	p ▲1.4
	原指数前年比%	▲12.0	▲3.3	4.4	6.0	7.8	p 5.0

〈資料〉山形県

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移

（2020年=100）



〈資料〉経済産業省、山形県

4. 雇用・所得環境・・・改善している

2月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.29倍となった。業種別の新規求人数をみると、卸売・小売などが減少した一方、サービス、製造業などが増加した。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%

山形県	2025年 4～6月	7～9月	10～12月	2025年 12月	2026年 1月	2月
有効求人倍率	1.28	1.26	1.29	1.29	1.27	1.29
完全失業率	2.1	1.9	2.0	—	—	—

〈資料〉総務省、山形労働局

（注）有効求人倍率の四半期データは、四半期末の水準。

1月の常用雇用指数は前年を上回った。所定外労働時間は前年を下回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2020 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2025年 3月	6月	9月	2025年 11月	12月	2026年 1月
常用雇用指数	▲0.6	0.8	▲0.3	0.0	0.8	0.2
所定外労働時間	6.3	▲3.9	▲11.8	▲14.5	▲14.9	▲6.4

<資料>山形県

1月の現金給与総額(名目賃金指数)、きまって支給する給与ともに、前年を上回った。

(図表 11) 所得関係指標 2020 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2025年 3月	6月	9月	2025年 11月	12月	2026年 1月
現金給与総額 (名目賃金指数)	6.7	0.5	1.9	0.3	1.4	0.4
きまって支給 する給与	3.9	4.5	0.7	▲0.1	0.9	0.5

<資料>山形県

5. 企業倒産・・・倒産件数は、概ね前年並みとなっている

3月の企業倒産(負債額10百万円以上)は10件、負債総額は7.3億円となった(前年同月は9件、14.6億円)。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山形県	2025年 6月	9月	12月	2026年 1月	2月	3月
件数	5	6	4	8	7	10
負債総額	5.0	2.6	3.6	7.5	4.3	7.3

<資料>(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・前年を上回っている

2月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数 2020 年基準、前年比、%

山形市	2025年 3月	6月	9月	2025年 12月	2026年 1月	2月
総合	3.7	3.1	2.2	1.4	0.2	0.5
生鮮食品を除く総合	3.2	2.7	2.3	1.8	1.0	0.9

<資料>山形県

7. 金融

2月の県内預金(銀行+信用金庫)は、前年を上回った。県内貸出(銀行+信用金庫)も、前年を上回った。この間、貸出金利は、上昇している。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山形県	2025年 3月	6月	9月	2025年 12月	2026年 1月	2月
実質預金+CD (末残前年比)	▲0.8	▲0.5	▲0.3	▲0.1	0.6	1.0
貸出金 (末残前年比)	2.6	2.2	2.4	1.3	1.1	1.7

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2025年 4~6月	7~9月	10~12月	2025年 12月	2026年 1月	2月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	0.084	0.017	0.036	0.021	0.009	0.032

2月末水準
1.223%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL: 023-622-4004